

安定的な資産形成について考えるシンポジウム

「人生100年時代～人生を楽しむためのお金の話～」開催結果 主催：金融庁、北陸財務局

金融庁と北陸財務局は、広く一般社会人等の皆様に、つみたてNISAの活用等を通じた安定的な資産形成について理解を深めていただくことを目的として、「安定的な資産形成について考えるシンポジウム『人生100年時代～人生を楽しむためのお金の話～』」を開催しました。

多数の皆様にご参加いただき誠にありがとうございました。



開催概要

日時	平成30年12月5日（水） 18時30分～20時30分
内容	1. 説明：「安定的な資産形成について」 説明者 金融庁企画市場局市場課長 小森 卓郎 2. 基調講演：「高齢社会のライフプランと資産形成の新しい考え方」 講演者 伊藤 宏一氏 (千葉商科大学人間社会学部教授、日本FP協会専務理事)
場所	ホテル金沢 2階ダイヤモンドルーム
主催	金融庁・北陸財務局
後援	文部科学省、厚生労働省、金融広報中央委員会、NISA推進・連絡協議会

シンポジウムの模様

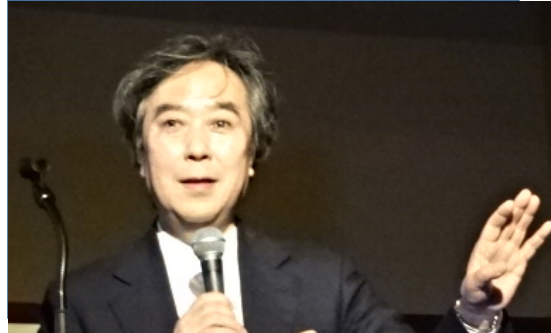
【1. 説明：「安定的な資産形成について」の模様】

金融庁企画市場局小森市場課長から、人生100年時代という高齢社会を迎える中で資産寿命を延ばすことが課題とされていること、ライフスタイルの多様化により金融サービスのニーズも多様化していること、我が国の家計金融資産の現状は米国等に比べ現預金の構成割合が高く、家計金融資産額の伸びが低いことなどを説明しました。また、安定的な資産形成には長期・積立・分散投資が効果的とされていること、長期・積立・分散投資と預貯金との違い、今年から始まった「つみたてNISA」について紹介しました。



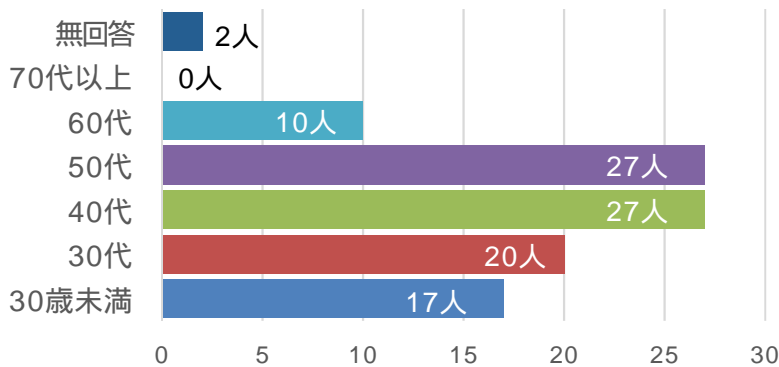
【2. 基調講演：「高齢社会のライフプランと資産形成の新しい考え方」の様様】

基調講演では、伊藤宏一氏から、人生100年時代を迎え生命寿命の延長とともに安定的な資産運用によって資産寿命を延ばすことが必要であること、デジタル化やシェア化といった新しい社会経済システムに向かっていく中、年齢で役割を区分する従来の日本型の3ステージモデルは通用しないこと、金融資産のほか、知識やスキル、ネットワークなどの無形資産への投資と充実が重要であることなどについて講演をいただきました。

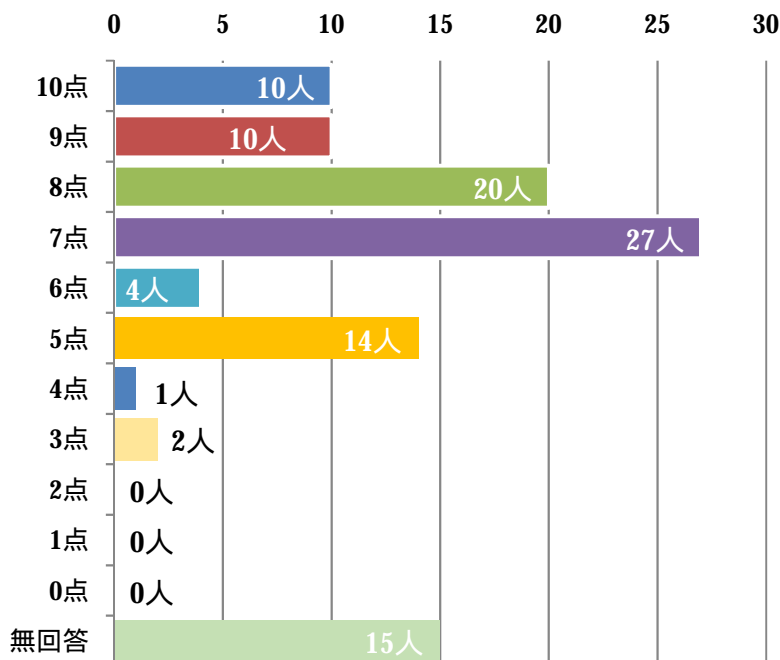


シンポジウム 参加者アンケート結果

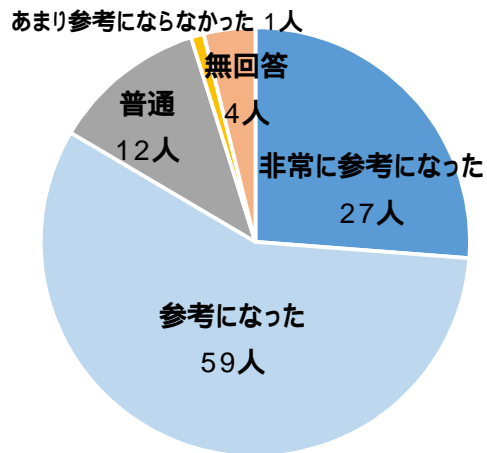
1. 年齢構成



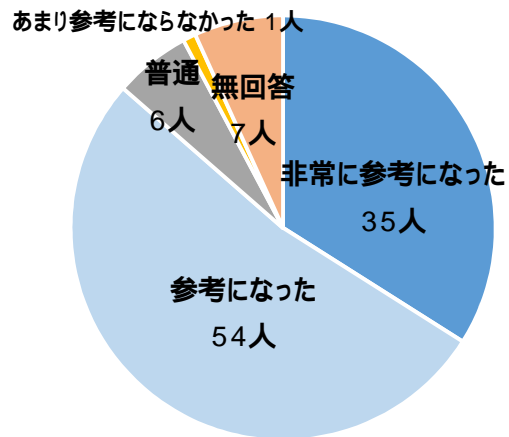
2. 本シンポジウムを友人や同僚に薦める可能性について（10段階評価）



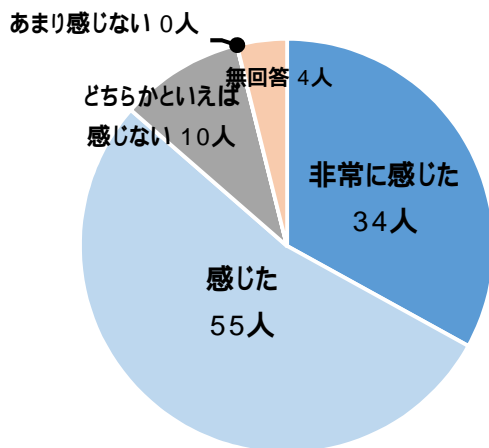
3. 金融庁の説明の内容について



4. 基調講演の内容について



5. 本シンポジウムに参加して、資産形成に関する知識習得の重要性を感じましたか



6. 本シンポジウムに関する主なご意見・ご感想

- 未来につながる資産の管理が必要だと思った
- 自分の行動を見直す必要性を感じた
- 20～30代の世代は非常に関心を示しているため、50代の自分自身ももっと関心を持ち業務に活かす必要性を感じた
- 高齢化に伴う認知能力低下もあり早いうちに資産形成・管理する重要性を感じた

本ページに関するお問い合わせ先

北陸財務局理財部金融調整官

電話番号 076-292-7859